

一緒に立正大学ラグビー部を応援しませんか?
ご興味のある方は立正大学総務課までご連絡ください!

立正大学総務課

☎048-536-6010

〒360-0194 埼玉県熊谷市万吉 1700

後援会報

RISSHO UNIVERSITY RUGBY FOOTBALL CLUB



平成25年8月発行

1部の座を不動のものに

立正大学ラグビー部部長
社会福祉学部教授
山口忠利



ラグビー部後援会会員の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、会報の紙上をお借りして厚く御礼申し上げます。平成25年4月から新部長に就任しました山口忠利です。前部長同様、宜しくお願い申し上げます。
昨年12月8日の入れ替え戦において6年ぶりに1部に復帰を果たしました。部員の鍛錬と努力は勿論の事、皆様のご支援とご協力があったからこそこの結果で

あります。毎年8月の菅平合宿・9月の激励会そして1月の納会など心温まるご支援を受けてラグビーが出来る部員たちは、誠に幸甚であります。このように個人会員様、法人会員様から構成される後援会組織は他大学では例がなく、誠にありがたい事と感謝いたしております。
さて、新部長としての決意であります。先輩の血涙で勝ち取った1部の座を不動のものにし、大学選手権出場に向けての練習環境、学生生活を送るための修学環境など環境整備に全力を傾ける所存であります。
現在部員数は、102名(女子8名、男子94名)その出身地も外国、日本全国から精鋭が集まっております。ポジション争い、レギュラーの獲得争いなど切磋琢磨の日々を送ることで、励まされ、協力し、連帯感が醸成され、強力なチームに育ってまいります。
平成25年度に入りましてからのラグビー部の活躍はご承知のことと思いますが、日本代表、代表候補選手に次々

と選ばれており、部員たち、大学そして関係各位にとってもうれしいニュースに包まれております。ロシアで開催された女子7人制ワールドカップには4名の女子部員が代表に選ばれ、ユニバーシアードには男子2名、女子5名が日本代表として出場を果たし、主力選手として活躍しました。この実績は、これに続く部員たちの大いなる励みになりリオ・オリンピックに多くの部員たちが日本代表選手として出場する先鞭となりました。
ただ残念なニュースもあります。6月に部員による不祥事が発生し、1ヶ月間対外試合などを自粛し、ラグビー部としての反省として研修会やメンタルケアに全力を挙げました。その自粛期間も終わり決意新たに公式戦に備えるべく努力しております。
皆様にはご迷惑、ご心配をおかけいたしました事に、深くお詫言申し上げます。この不祥事を契機として一段の飛躍を期しております。何卒ご支援ご協力のほど、重ねてお願い申し上げます。

志高く

杉尾富由紀

総務・会員増強部会
副部会長



立正大学ラグビー部後援会の皆様方には、日頃から温かいご支援とご後援を頂き、また立正大学理事長、学長、ラグビー部部長を始め、学校関係者の皆様方には、後援会の運営に多大なるご協力を頂き、熱く御礼申し上げます。
平成24年度は、2部リーグ戦を完全優勝し、1部リーグ入替戦に於いても勝利し、念願の1部リーグ昇格をなすと、私達の喜びもひとしおです。
昨今、なでしこジャパンを代表とした女性アスリートの活躍を目にする機会

が多くなっています。ラグビー界も男子に留まらず、女子ラグビーも注目されています。
2016年のリオデジャネイロ五輪の正式種目となった7人制ラグビー、日本の女子チームは、「サクラセブンス」と名付けられました。2013年の女子7人制W杯に立正大学ラグビー部女子部の鈴木陽子、鈴木彩香、三樹加奈、大黒田裕芽の4選手が、女子日本代表として出場しました。また、ユニバーシアードには桑井亜乃を加え、5名が選出されました。サクラセブンスとサクラファイティーンの快進撃が始まるか!
選手達は、優勝目指し、日夜練習に励んでいることでしょうか。私が、美容の世界大会で優勝めざして練習に励んでいた頃を思い出します。
強豪は、ロシアとドイツ。世界一のヘアデザインと美容技術を競った、あの頃の経験が今の仕事に生かされています。父、杉尾富美雄がコンテストに出場するスタッフに必ず言っていた言葉ですが、「優勝目指して練習しないと入賞も出来ないぞ、入賞を目指して練習していたら入賞も出来ないぞ」と。女子ラグビー、

他国に劣ると言われるフィジカル面をカバーすべく猛練習を積む日本代表の彼女達。鈴木彩香さんは「ついでにけないとかじゃなくてやるかやらないか。ちよつと捻挫しても皆やるんです。テーパーンク巻き直して。多分、抜けたくないし、皆の信用を裏切りたくない。這いつくばつてやつてる」、大黒田さんは「女子ラグビーの絆は凄いです。ファミリーです」と、過酷な練習を乗り越える糧となる仲間との絆を語っています。
昨年10月、アジア地区予選で3位に入り、2大会連続のW杯セブンス出場を果たした女子日本代表は「サクラセブンス」の今後の活躍に期待し、世界での経験を生かして邁進する立正大学ラグビー部女子部にエールを送りたいと思います。
「目指すぞ優勝!立正大学ラグビー部!」

最大の敵は己にあり

立正大学ラグビー部監督
堀越正己



いつも立正大学ラグビー部をご支援いただき、誠に有難うございます。
また、6月にラグビー部員が不祥事を起こし、皆様には多大なご心配とご迷惑をお掛けしたことを心よりお詫言申し上げます。監督として管理が至らなかったことを痛感し、深く反省しております。二度とこのような事が起こらないよう、チーム一同、一層心を引き締め目標に邁進してまいります。
昨年の12月に念願の1部復帰を果たして以来、新チームは「大学選手権出場」を目標に厳しい練習を重ねてきました。今は夏合宿を前に、春のオープン

戦、春季大会を経て、チームの強みと課題が明確になってきたところです。技術面も然ることながら、1部の舞台で勝ち抜くためには精神面の向上が不可欠となります。リーグ戦に入ればすべての試合が厳しい戦いになります。初戦から最終戦までベストのコンディションとパフォーマンスで挑まなければ「大学選手権出場」はおろか、1勝することすら難しいのが1部リーグです。強敵を相手に勝ち進むために、夏合宿では心技体すべての面で、もう一つ上のステージに上げるべくチーム一丸となつて練習に挑む所存です。
ご存知の通り、女子部員達の活躍は目覚しく、先般ロシアで開催された7人制ワールドカップには4名、ユニバーシアード大会には5名(※男子は2名)が立正から選出され、世界の舞台で躍動しました。目下最大の目標である2016年リオ・オリンピック出場に向け、日々精進しております。応援してください。皆様のご期待に答えられるよう、男女ともに切磋琢磨し、日々の生活、練習に励んでまいります。チームのモットーである「誰からも愛されるチーム」を目指し、万全を期して秋本番の舞台に立つ所存です。今年も変わらぬご支援をお願い申し上げます。

『規律・敬意・感謝』を胸に

立正大学ラグビー部主将
吉澤太一



私たち、立正大学ラグビー部は昨年の入れ替え戦に勝利し6年ぶりに関東1部リーグに復帰することができました。そして今年の立正大学ラグビー部は、「大学選手権出場」を目標に掲げて日々のトレーニングに励んでいます。

今年から新しく太田コーチと松川コーチをチームに迎えてフォワードの強化に努めています。バックスは菊地ヘッドコーチ、中嶋コーチのもとコンタクトを中心に強化にあたり、日々激しい練習をチーム全員で高い意識で励んでいます。試合中は決められたルールを守ること、相手チームやレフリーに敬意を表すること、ラグビーが出来ている環境や応援して下さる様々な方に感謝する「規律・敬意・感謝」を胸に選手一同戦っています。また誰からも愛されるチームをモットーに様々な活動もしています。例えば、地域の祭りのゴミ拾いなどの地域貢献を行いました。今後もチーム一丸となり、一人ひとりがラグビーと真剣に向き合い、目標である「大学選手権出場」が実現出来るように日々の厳しいトレーニングに励んでいきますので、これからも立正大学ラグビー部へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

平成24年度 立正大学ラグビー部後援会決算報告

【収入の部】 (単価:円)

科目	予算額	決算額	増減	摘要
前年度繰越金	640,551	640,551	0	
年会費	2,080,000	2,903,000	823,000	個人会員243件 877,000/法人会員98件 1,026,000 熊谷商工会議所特別会費 1,000,000
総会・激励会参加費	300,000	408,000	108,000	総会懇親会費: 88,000 (43名×@2,000) 合宿激励: 125,000 (22名×@5,000) 激励会会費: 120,000 (40名×@3,000) 4/23運営委員会: 30,000 (10名×@3,000) 7/17運営委員会: 45,000 (15名×@3,000)
雑収入	50,000	40,000	△10,000	激励会表賞 30,000 合宿激励寸志 10,000
大学より協力費	200,000	200,000	0	
合計	3,270,551	4,191,551	921,000	

【支出の部】 (単価:円)

科目	予算額	決算額	増減	摘要
補助費	1,500,000	1,500,000	0	
事業費	600,000	624,160	24,160	総会 80,000/合宿激励 170,890/激励会 265,200 4/23運営委員会 55,570/7/17運営委員会 52,500
会報等発行費	200,000	221,400	21,400	会報印刷 12,690/会費振込用紙印刷代 94,500
事務費	200,000	144,500	△55,500	通信費他
会費振込手数料	30,000	20,490	△9,510	郵便振込み
予備費	740,551	0	△740,551	
合計	3,270,551	2,510,550	△760,001	

【決算の部】 (単価:円)

収入	支出	差引(残高(次年度繰越金))	摘要
4,191,551	2,510,550	1,681,001	

平成25年度 立正大学ラグビー部後援会予算 平成25年4月1日から平成26年3月31日

【収入の部】 (単価:円)

科目	本年度予算	前年度予算	対前年比	摘要
前年度繰越金	1,681,001	640,551	1,040,450	
年会費	2,080,000	2,080,000	0	個人会員260名(780,000) 法人会員130名(1,300,000)
総会・激励会参加費	300,000	300,000	0	総会:70,000/激励会:120,000 運営委員会:50,000/合宿激励:60,000
大学より協力費	200,000	200,000	0	
雑収入	50,000	50,000	0	総会・激励会表賞
合計	4,311,001	3,270,551	1,040,450	

【支出の部】 (単価:円)

科目	本年度予算	前年度予算	対前年比	摘要
補助費	1,500,000	1,500,000	0	ラグビー部への補助
事業費	1,600,000	600,000	1,000,000	総会・激励会/選手交流会/管平合宿激励/ラグビー普及活動費等 埼玉ラグビーフェスティバル協賛金(1,000,000)
会報等発行費	200,000	200,000	0	会報・会員証等印刷代
事務費	200,000	200,000	0	通信費、事務用品購入等
会費振込手数料	30,000	30,000	0	郵便振込
予備費	781,001	740,551	40,450	
合計	4,311,001	3,270,551	1,040,450	

平成24年度 立正大学ラグビー部後援会事業報告

平成24年

4月23日(月)	運営委員会開催(総会に向けて)	
6月12日(火)	役員会・総会・懇親会開催(於:立正大学熊谷キャンパス)	
7月17日(火)	運営委員会開催(激励会に向けて)	
8月30日(木)	合宿激励ツアー開催(於:菅平高原)	
9月5日(水)	会員証・会報発行	
9月11日(火)	激励会開催(於:熊谷商工会議所大ホール)	
9月22日(土)	公式戦応援(対国学院大学)	80 - 5 ○
9月30日(日)	公式戦応援(対国士館大学)	47 - 12 ○
10月14日(日)	公式戦応援(対玉川大学)	73 - 8 ○
10月21日(日)	公式戦応援(対東洋大学)	37 - 22 ○
11月4日(日)	公式戦応援(対埼玉工業大学)	80 - 7 ○
11月11日(日)	公式戦応援(対専修大学)	25 - 17 ○
11月25日(日)	公式戦応援(対山梨学院大学)	61 - 8 ○
12月8日(土)	1部2部入替戦応援(対関東学院大学)	40 - 17 ○

平成25年

1月12日(土)	ラグビー部納会参加(於:ホテルガーデンパレス)
----------	-------------------------

平成25年度 立正大学ラグビー部後援会事業計画

- ラグビー部への補助
- リーグ戦等試合の応援
- 激励会選手交流会の開催
 - 合宿激励 8月25日(日)於 菅平高原
 - 激励会 9月10日(火)於 熊谷商工会信用組合 6F大会議室
- 地域におけるラグビーの普及推進
- 後援会会報の発行
- 新規会員の増強
- その他

春季 オープン戦結果

課題の多かった春季シーズン。
課題を克服し、夏合宿を経て、
大学選手権出場を目指し、
さらなる進化を遂げる!



【関東大学リーグ戦セブンス大会】 (町田市立野津田公園)

日時	トーナメント	勝敗	スコア	対戦相手
4月14日	1回戦	○	立正大学 43 - 0	白鷲大学
	2回戦	○	立正大学 21 - 14	山梨学院大学
	準決勝	○	立正大学 44 - 5	国学院大学
	決勝	●	立正大学 12 - 24	流通経済大学

【東日本セブンス大会】 (秩父宮ラグビー場)

日時	トーナメント	勝敗	スコア	対戦相手
4月21日	1回戦	○	立正大学 40 - 7	中央大学
	チャンピオンシップ1回戦	○	立正大学 26 - 7	大東文化大学
	チャンピオンシップ2回戦	●	立正大学 5 - 45	筑波大学

オープン戦

日時	グレート	勝敗	スコア	対戦相手
4月28日	B	●	31 - 83	東洋大学A
	C	●	31 - 76	東洋大学B
	D	●	12 - 81	東洋大学C
5月11日	B	○	15 - 14	国士館大学A
	C	○	45 - 5	国士館大学B
5月18日	C	●	14 - 61	拓殖大学C
	A	○	26 - 24	拓殖大学A
	B	●	38 - 49	拓殖大学B

関東大学春季大会Cリーグ戦

日時	勝敗	スコア	対戦相手
4月28日	○	82 - 31	成蹊大学
5月26日	○	62 - 38	立教大学
6月2日	●	0 - 60	大東文化大学

2013年度新入部員

今年も精鋭23名の新入部員が立正大学の門をたたきました。大きな希望を胸に、目標に向かって成長していきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

ポジション	学年	名前	出身校
男子			
スクラムハーフ	1	上沼 智宏	下伊那農業高校
	1	澁川 華道	昌平高校
	1	小筆 誠也	光泉高校
スタンドオフ	1	武井 辰雄	仙台工業高校
	1	崔 鍾和	東京朝鮮高校
センター	1	本村 侑也	八戸西高校
フルバック	1	山田 優哉	金足農業高校
	1	大黒田 結芽	市立船橋高校
女子			
BK	1	公家 明日香	新栄高校
FW	1	LEITCH ANE LINE	ババスイ高校

※女子のポジションはセブンス表記です

2013年関東大学リーグ戦1部公式戦日程

今年も4試合が地元・熊谷で開催されます。ホームでの声援は1部の舞台で戦う選手にとって大きな力となります！一人でも多くの方がグラウンドへお越しいただけるよう選手一同心よりお待ちしております。

日時	開始時間	対戦相手	試合会場
9月15日(日)	13:00	法政大学	熊谷A
9月22日(日)	13:00	東海大学	秩父宮
10月6日(日)	12:00	中央大学	上柚木
10月20日(日)	12:00	日本大学	熊谷A
10月27日(日)	14:00	流通経済大学	ケーズデンキスタジアム水戸
11月10日(日)	12:00	拓殖大学	熊谷A
11月24日(日)	14:00	大東文化大学	熊谷A

2013年 ジュニア選手権 カテゴリー3公式戦日程

日時	開始時間	対戦相手	試合会場
9月14日(土)	14:00	日本大学	日本大学G
9月28日(土)	12:00	青山学院大学	青山学院大学G
10月19日(土)	12:00	大東文化大学	大東文化大学G
10月26日(土)	12:00	拓殖大学	拓殖大学G

世界の舞台へ! 7人制W杯、ユニバーシアードで「RISSHO」が躍動!

6月28日にモスクワで開幕した「ラグビーワールドカップセブンス2013」に、立正から女子4名(鈴木彩香、三樹加奈、鈴木陽子、大黒田裕芽)が7人制日本代表に選出され、世界の強豪国と対戦しました。プール予選第1日目に行われたロシア・強豪ロシアとの対戦では、鈴木陽子(2年)が2トライを奪うなど、世界レベルで通用することを証明しました。結果は全敗で終わったものの、予選プールのロシア戦、ポウルトーナメントのオランダ戦は5点差以内での惜敗。今後の成長次第では十分に世界で戦える

可能性を感じさせる大会となりました。また、同じロシアで開催された(7月14日~17日)ユニバーシアードでも、女子5名(鈴木彩香、三樹加奈、鈴木陽子、大黒田裕芽、桑井亜乃)、男子2名(吉澤太一、鶴谷知憲)の計7名がユニバーシアード日本代表として参加。男子は6位、女子は9位に終わったものの、「世界」を肌で感じた7名の経験は、今後の立正ラグビーにとって貴重な財産となることは間違いありません。